

「NPO法人大雪バリアフリー研究所」へ イオン社会福祉基金より車いす・ボッチャセットを贈呈 1月18日（日）に贈呈式を開催

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、2026年1月18日（日）に、「NPO法人大雪バリアフリー研究所」（旭川市）へイオングループの会社が加盟・運営するイオン社会福祉基金より車いす3台とボッチャセット2セットを贈呈します。

寄贈先である「NPO法人大雪バリアフリー研究所」は、障がいのある当事者を中心地域の大学・病院・介護施設・福祉用具事業者・観光・旅行・宿泊・飲食・市民団体などと連携し、誰もが暮らしやすい地域づくりと障がい者の社会参加を推進する団体です。

当社が運営するイオン旭川駅前店は以前より同法人の取り組みに賛同し、イベントのお手伝いや備品・飲食物の提供などで協力してきました。加えて、同団体の運営しているチームがボッチャ大会の運営・参加を行っていることから、今回の贈呈に至りました。寄贈する車いすは同団体の活動でご活用いただくため、ボッチャセットは、イオン社会福祉基金がパラスポーツの普及活動に取り組んでいることから、ボッチャのさらなる普及や同団体の活動に役立てていただくためにお渡しします。

当社は、これからも共生社会の実現に向け、ボランティア活動やパラスポーツの普及に取り組んでまいります。



〈贈呈する車いすとボッチャセット〉



〈イオンモール札幌発寒「ボッチャ体験会」の様子〉

■贈呈式の概要について

1. 贈呈先：NPO法人大雪バリアフリー研究所
2. 贈呈日時：2026年1月18日（日）10:00～10:30
3. 寄贈品：車いす3台、ボッチャセット2セット
4. 贈呈場所：イオンモール旭川駅前4階 イオンホール
5. 出席者：

NPO法人大雪バリアフリー研究所 代表理事 五十嵐 真幸 様	店長 大沼 康彦
イオン旭川駅前店	中央執行委員長 淵野 恵司
イオン北海道労働組合	

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話：011-865-9111

◇SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。

この取り組みはSDGsの目標3、10、17の達成に貢献します。イオン北海道は今後もSDGsの取り組みを推進してまいります。



ご参考

イオン社会福祉基金

イオン社会福祉基金は、グループの労使が協調して地域社会へ奉仕するという理念のもと、障がい者の社会活動への参加を促進し、福祉の向上を図ることを目的に1977年9月に設立されました。同基金には2024年12月末時点でのイオングループ115社、約7万6,600人が加盟しており、労使双方が従業員一人あたり毎月50円ずつ（労使双方で100円）積み立てて運営しています。基金設立以来、障がい者の方々の社会活動への参加支援として、障がい者福祉施設・団体へのボランティア活動・寄贈や、福祉車両の贈呈などを行っているほか、2022年からはパラスポーツ（ボッチャ）の普及活動にも取り組んでいます。